

都内一部で配送集約

トナミ運輸・第一貨物・久留米運送

委託先へ資本参加も

トナミ運輸（本社・富山県高岡市、綿貫勝介社長）、第一貨物（同・山形市、武藤幸規社長）、久留米運送（同・福岡県久留米市、二又茂明社長）の三社は、東京都の中・

西部エリア「三多摩地区」への配送を効率化するため、ウインローダー（同・東京、高嶋民仁社長）に配送業務を集約する。

トナミホールディング

ウインローダーは昭和二十五年一月設立。資本金五千万円。東村山市、昭島市など三多摩地区を中心に拠点を展開。

ス（同・富山県高岡市、綿貫勝介社長）、第一貨物、久留米運送はウインローダーへの資本参加も実施。こうした取り組みを行うのは初めて。

ウインローダーに三多摩地区への配送を一元化することで、コストダウンにつながる。ウインローダーは取扱量が増え、双方にとってメリットが生まれる。

三社は平成二十四年九月、東京―大阪間の幹線共同運行を担う「ジャパ・ン・トランス・ライン」を合併で設立。その後、業務効率化を目指し、東北―九州間の乗り換え運行や中京・東海―関東間の共同運行などの取り組みを進めている。トナミ運輸は以前からウインローダーと業務提携、今回の配送業務集約につながった。

（藤本 裕子）